

2005年4月28日
金沢21世紀美術館

展览会開催のお知らせ

「世界の美術館：未来への架け橋」

Museums for a New Millennium: Concepts Projects Buildings

「妹島和世+西沢立衛／SANAA 展」

Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa / SANAA

2005年4月29日（金・祝）～5月22日（日）
（休館日：5月9日・16日）

金沢21世紀美術館（館長：蓑 豊、所在地：石川県金沢市広坂1-2-1）では、本年4月29日（金・祝）から5月22日（日）まで、「世界の美術館：未来への架け橋」と「妹島和世+西沢立衛／SANAA 展」を開催いたしますので、お知らせいたします。



「妹島和世+西沢立衛／SANAA」展

金沢 21 世紀美術館の設計者、妹島和世、西沢立衛がデザインした建築、家具、プロダクトを初期のものから最新プロジェクトまで紹介します。金沢 21 世紀美術館の設計の過程で無数に作られたスタディ段階の模型を 121 点展示し、様々なアイデアやかたちが生成するプロセスを示します。また、SANAA の建築は多くの写真家をひきつけてもいます。それらの写真家が撮影した SANAA の建物の新作写真を併せて展示することにより、建築家自身も意図しなかった新たな解釈を提示します。また同時に、フランク・O.ゲリー、安藤忠雄ら世界的な建築家たちが設計した美術館建築の模型、図面、写真など約 300 点を展示し、1990 年代以降に世界各地で構想、実現された 25 の美術館・博物館建築を紹介する「世界の美術館：未来への架け橋」展(P7 参照)も開催します。

展覧会概要

- 展覧会名称： 「妹島和世+西沢立衛／SANAA」展
※「世界の美術館」展（バーゼルアートセンター企画）と同時開催
- 英文名称： 「Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa / SANAA」
- 会期： 2005 年 4 月 29 日（金・祝）～5 月 22 日（日）
（休館日：5 月 9 日、16 日）
- 開館時間： 10 時～18 時（金・土曜日は 20 時まで）
- 料金（予定）：
 - ・当日
一般＝600 円 大学生＝500 円 小中高生＝250 円、65 歳以上＝500 円
 - ・団体
一般＝500 円 大学生＝400 円 小中高生＝200 円
 - ※「世界の美術館：未来への架け橋」との共通料金
 - ・当日
一般＝1,000 円 大学生＝800 円 小中高生＝400 円、65 歳以上＝800 円
 - ・団体/前売り（前売りは共通券のみ販売）
一般＝800 円 大学生＝600 円 小中高生＝300 円
- 会場： 金沢 21 世紀美術館 展示室 2 から展示室 6 まで、展示室 13
- 会場デザイン： 妹島和世+西沢立衛／SANAA、ホンマタカシ、ルイザ・ランブリ、ウォルター・ニーダーマイヤー
- 出品点数： 図面 9 点、模型 24 点、スタディ模型 121 点、映像 4 点、家具 7 点、写真作品 11 点、真作品 11 点、写真 17 点
- 主催： 金沢 21 世紀美術館、北國新聞社
- 後援： 読売新聞東京本社、美術館連絡協議会、テレビ金沢
- 特別協賛： 株式会社インターオフィス
- 協賛： ヤマギワ株式会社
- 協力： Alessi s.p.a.、株式会社カッシーナ・イクスシー、LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン株式会社、ネクストマルニ（株式会社マルニ木工）

本資料に関する問い合わせ先

金沢 21 世紀美術館

広報担当：落合

TEL：076-220-2800

FAX：076-220-2802

〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1

<http://www.kanazawa21.jp>

E-mail：press@kanazawa21.jp

※展覧会の作品写真、美術館の写真などは上記へお問い合わせ下さい。

展覧会コンセプト

金沢 21 世紀美術館の建物の設計者、妹島和世と西沢立衛は、1995 年に共同設計事務所「SANAA (Sejima and Nishizawa and Associates)」を設立しました。彼らは、独自に展開したデザインを個々の事例に当てはめる従来の建築家とは異なり、情報を収集し、丹念にそれを読み込むスタディを通して、デザインに反映させていく新しい世代を代表する建築家です。金沢 21 世紀美術館においても 21 世紀の美術館としての新しいコンセプトモデルを実現するために、多くの試みがなされました。2004 年に竣工・開館した当美術館の建物は、外周が全面ガラス張りの円形の平屋で、その中に様々な大きさの展示室が散在するという構成によって、これまでの美術館にない開放感と自由な流動性を生み出し、高い評価を得ました。建物の「表」と「裏」の関係、「プライベート」と「パブリック」の関係など、建築の設計における暗黙の決まりごとを解体し、建物を使う人々の間に新しい関係を設定することが、二人の特徴と言えます。

本展は、初期のものから最新プロジェクトに至る二人の建築家の試みを、新しい展示方法によって示すものです。設計途中の多くのスタディ模型やスタディ図面を展示することによって、二人がかたちを生み出す過程を示すとともに、3 人の写真家が作家としての視点でとらえた金沢 21 世紀美術館の写真を展示します。

展覧会の特徴

①スタディ段階の図面、模型を多数展示することによって、かたちの生成するプロセスを示します。

SANAA の設計手法の特徴として、条件から引き出される無数のバリエーションを一旦図面や模型といったかたちにして検証してみることが挙げられます。このスタディ段階の図面、模型を多数展示することによって、かたちの生成するプロセスを示します。

これまで建築をテーマにした展覧会では、図面や写真、模型を展示し、完成された建築の概要を提示することが多く見られましたが、この展覧会では、そこへ至る過程、つまり建築家の思考と生成のプロセスを示します。

②金沢 21 世紀美術館の写真を展示することによって、SANAA の建物に対する新たな解釈を提示します。

SANAA の建築はホンマタカシ、ルイザ・ランブリ、ウォルター・ニーダーマイヤーなど多くの写真家をひきつけています。それらの写真家が撮影した金沢 21 世紀美術館の新作写真を展示することにより、SANAA の建物に対する新たな解釈を提示します。

③SANAA の作品＝金沢 21 世紀美術館の中で、SANAA のワークを紹介します。

なにより会場の金沢 21 世紀美術館は、SANAA の代表作。この建築が高く評価され、昨年ベネチアビエンナーレ建築展で彼らは金獅子賞を受賞しました。この美術館は、有料・無料ゾーンの区分けを変えることができたり、展示室が独立して散在するといった具合に、これまでにない美術館の特徴を持つと同時に、SANAA の建築に対する考え方が表されています。その展示空間を、SANAA のワークが埋め尽くします。

展示概要（順路順に）

<生成のプロセス>と<バリエーション>

①これまで、そしてこれからのプロジェクト（展示室 13）

SANAAがこれまで手がけた建築、現在進行中またはこれから予定されている様々なプロジェクトを、絵画のように展示された平面図や立面図、写真、ドローイングで紹介します。

②最新プロジェクト、EPFL ラーニングセンターの巨大模型（展示室 4）

スイス・ローザンヌのレ・マン湖近くの大学キャンパス内に計画されている学習センターの巨大模型を展示。220メートル×140メートルの建物を1/20の縮尺で現場制作した部屋いっぱいの模型は11メートル×7メートルの大きさを持ちます。床と屋根が緩やかに起伏し、図書館やホール、レストランなどは、起伏と中庭によって分けられながらも、繋がってあります。金沢21世紀美術館を発展させたようなアイデアです。

③121個のスタディ模型ー

金沢21世紀美術館のかたちが生まれたプロセス（展示室 3）

金沢21世紀美術館のスタディ段階で出た様々な案を、1/500の縮尺で121個並べます。少しずつ異なる案を見比べることで、自分が中にいる建物があり得た別の可能性を感じ取ることができます。121個の中に一つだけ、実現した実際のかたちがあります。

④金沢21世紀美術館の建築写真（展示室 2）

ルイザ・ランブリ、ウォルター・ニーダマイヤー、ホンマタカシの3人の写真家が、SANAAの建物を撮影した新作写真を展示します。ランブリの、金沢21世紀美術館の展示室の窓を写した装飾性を廃した写真は、どれも一見同一に見えますが、時間や場所が異なります。常に自分の位置を確認し意識しなければならないこの建物の特徴をとらえた写真です。またウォルター・ニーダーマイヤーが撮影した2枚一組となるSANAAの建物の組写真には、横にパノラマ的にずらしたものの、振り返った光景を撮ったもの、少し引いて撮ったものなど様々なパターンがあります。色々な組み合わせが混在することにより、建物に生じる様々な視線の交錯を浮き彫りにしていきます。

⑤建築の様々なバリエーション（展示室 6）

ニューミュージアム、トレド美術館ガラスセンター、ツォルフエライン・スクールなど、段ボール製のスタディ模型・アクリル製コンセプト模型を約30点、プロジェクトごとに台座に乗せ、床に展示します。模型の素材、仕上げの精度はプロジェクトに応じて決められ、素材の様々なバリエーションが示されます。

⑥植物・花・光（展示室 5・光庭）

光庭に、ステンレス・スチールで作った花の形の板を敷き詰め、にぎやかな雰囲気演出します。展示室5では、SANAAのデザインした家具を展示します。

作家プロフィール

SANAA

妹島和世、1956年茨城県生まれ。西沢立衛、1966年神奈川県生まれ。1995年より共同設計を始めSANAAを設立。設計した主な建築に「国際情報科学技術アカデミー マルチメディア工房」(1996年、日本建築学会作品賞)、「熊野古道なかへち美術館」(1997年)、「飯田市小笠原資料館」(1999年)、「ディオール表参道」(2003年)、「金沢21世紀美術館」(第9回ヴェネツィア建築ビエンナーレ展示部門金獅子賞、毎日芸術文化賞)など。進行中のプロジェクトは「スタッドシアター」(オランダ、2006年完成予定)、「トレド美術館ガラスパビリオン」(アメリカ合衆国、2005年完成予定)、「ニューミュージアム」(アメリカ合衆国、2007年完成予定)、「バレンシア近代美術館増築」(スペイン、2007年完成予定)、「ツォルフェラインスクール」(ドイツ、2006年完成予定)など。

出品写真家

- ・ウォルター・ニーダーマイヤー Walter Niedermayr
- ・ルイザ・ランブリ Luisa Lambri
- ・ホンマタカシ Takashi Homma



ウォルター・ニーダーマイヤー作品

関連企画

■講演会 妹島和世、西沢立衛

- 日時:4月29日(金・祝)
14:00~16:00(開場13:30)
- 会場:金沢21世紀美術館 シアター21
- 定員:先着180名
- 料金:無料(ただしSANAA展観覧券が必要)
- 内容:金沢21世紀美術館の設計者である妹島和世、西沢立衛の二人が、これまでの建築や金沢21世紀美術館、そしてこれからを語る。

■トーク ホンマタカシ

- 日時:5月8日(日)
14:00~15:00(開場13:30)
- 会場:金沢21世紀美術館 レクチャーホール
- 定員:先着90名
- 料金:無料(ただしSANAA展観覧券が必要)
- 内容:都市や郊外の写真を撮り続けてきた写真家が語るSANAAの魅力。

■上映会 チャールズ&レイ・イームズ

- 日時:5月14日(土)
13:00~18:00
- 会場:金沢21世紀美術館 レクチャーホール
- 定員:先着90名
- 料金:無料
- 内容:「パワーズ・オブ・テン」(1977年、8分48秒)、など、アメリカの建築家、インダストリアル・デザイナー、イームズ夫妻による映像作品を上映。日本語字幕つき。

「世界の美術館：未来への架け橋」展

Museums for a New Millennium: Concepts, Projects, Buildings

- 会期： 2005年4月29日（金・祝）～5月22日（日）
（休館日：5月9日、16日）
- 開館時間： 10時～18時（金・土曜日は20時まで）
- 料金（予定）：
 - ・当日
一般＝600円 大学生＝500円 小中高生＝250円、65歳以上＝500円
 - ・団体
一般＝500円 大学生＝400円 小中高生＝200円
 - ※「妹島和世+西沢立衛/SANAA」との共通料金
 - ・当日
一般＝1000円 大学生＝800円 小中高生＝400円 65歳以上＝800円
 - ・団体/前売り（前売りは共通券のみ販売）
一般＝800円 大学生＝600円 小中高生＝300円
- 会場： 金沢 21世紀美術館 展示室7から展示室12まで
- 主催： 金沢 21世紀美術館、読売新聞東京本社、美術館連絡協議会
- 後援： スイス大使館、北國新聞社、テレビ金沢
- 協賛： 花王株式会社
- 協力： 日本航空
- 企画： バーゼル・アート・センター、チューリヒ連邦工科大学
- 出品作品・資料： 模型23点、パネル約150点（図面、写真、ダイヤグラム等）
- 概要：

金沢 21 世紀美術館の設計は、他の美術館建築の調査からスタートしました。各美術館が何を目指し、建築家とともにどのような建物を構想し、実現したか。建物には美術館と建築家が、美術館の存在意義、都市との関係といった問題に向き合い、見出したそれぞれの解答が示されています。この展覧会は、1990 年代以降に世界各地で構想され、あるいは実現された 25 の美術館・博物館建築を紹介するものです。フランク・O.ゲーリー、安藤忠雄など、世界的な建築家たちが設計した美術館建築の模型、図面、写真など約 300 点を展示しながら、建築に示されたそれぞれの美術館のコンセプトを示します。

■出品建築家：

ノーマン・フォスター Norman Foster / リチャード・マイヤー Richard Meier / オスヴァルト・マティアス・ウンガース Oswald Mathias Ungers / ロバート・ヴェンチューリ Robert Venturi & デニス・スコット・ブラウン Denise Scott Brown / ヴィットリオ・グレゴッティ Vittorio Gregotti & マヌエル・サルガド Manuel Salgado / アルヴァロ・シザ・ヴィエイラ Alvaro Siza Vieira / マリオ・ボッタ Mario Botta / レム・コールハース Rem Koolhaas / リカルド・レゴレッタ Ricardo Legorreta / ダニエル・リベスキンド Daniel Libeskind / アルド・ロッシ Aldo Rossi / ピーター・ズントー Peter Zumthor / フランク・O.ゲーリー Frank O. Gehry / ヨーゼフ・パウル・クライフス Josef Paul Kleihues / ホセ・ラファエル・モネオ Jose Rafael Moneo / ジャン・ヌーヴェル Jean Nouvel / レンゾ・ピアノ Renzo Piano / サンティアゴ・カラトラヴァ Santiago Calatrava / ジョルジョ・グラッシ Giorgio Grassi / デイヴィッド・チップパーフィールド David Chipperfield / ジャック・ヘルツォーク Jacques Herzog & ピエール・ド・ムーロン Pierre de Meuron / ファン・ナヴァロ・バルデヴェク Juan Navarro Baldeweg / 安藤忠雄 Tadao Ando / スティーヴン・ホール Steven Hall / ザハ・ハディド Zaha Hadid

関連展示

「日本から未来へ」展

Museums by Japanese Architects

- 会期： 2005年4月29日（金・祝）～5月22日（日）
（休館日：5月9日、16日）
- 開館時間： 10時～18時（金・土曜日は20時まで）
- 料金： 無料
- 会場： 金沢21世紀美術館 展示室14
- 主催： 「日本から未来へ」展実行委員会
- 共催： 美術館連絡協議会
- 協力： 青木淳建築計画事務所、坂茂建築設計、妹島和世+西沢立衛/SANAA、aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所
- 協賛： 花王株式会社、株式会社エルコ・トートー、タキヤ株式会社、いわき建築設計事務所協会、株式会社佐藤総合計画、新日軽株式会社、株式会社イトーキ、株式会社大気社、ダイキン工業株式会社、富士通株式会社、株式会社モマ神奈川パートナーズ

■概要：

金沢21世紀美術館の計画以降、日本人建築家が設計を進めている最新の美術館建築3点を模型、図面、写真、建築素材などを使って紹介します。国際巡回展「世界の美術館」展日本開催に際しての追加展示。

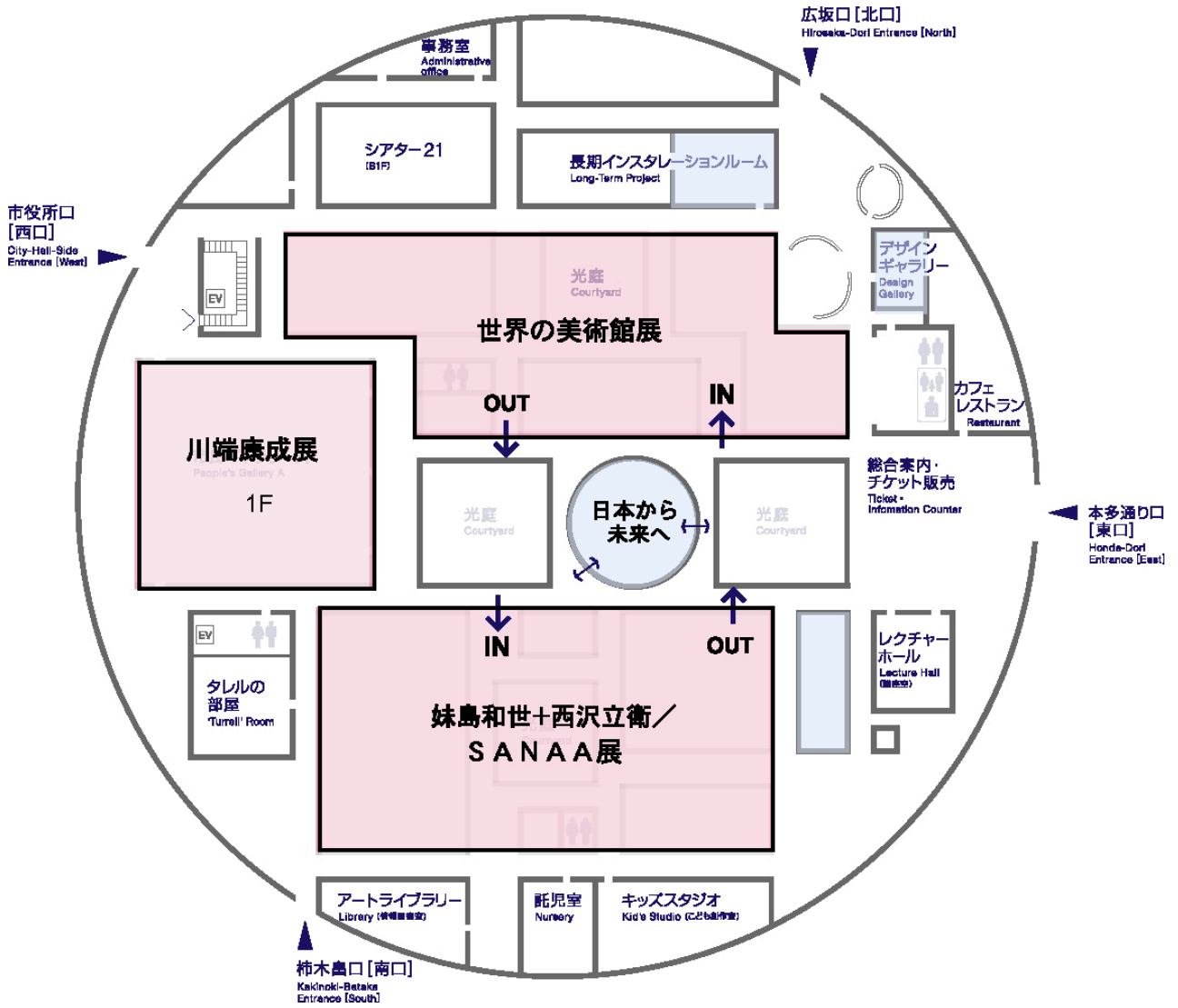
■出品建築家(美術館)：

ヨコミゾマコト Makoto Yokomizo(富弘美術館 Tomihiro Museum)

青木淳 Jun Aoki(青森県立美術館(仮称) Aomori Museum of Fine Art)

坂茂 Shigeru Ban (ポンピドゥー・センター・メス Centre Pompidou-Metz)

会場図



この資料の記載内容は、変更する場合があります。ご了承下さい。